

アークフラッシュ施工された老人施設からは5年間インフルエンザの発症が報告されておりません。

<<通販開始>> <http://homepage2.nifty.com/arc-clean/>

<<>>

タクシーの中は受動喫煙の危険がいっぱい。窓を閉め切ったタクシーで乗客1人がたばこを吸うと、車内の粉じん濃度が国の環境基準の12倍になり、1時間以上、元に戻らないことが、東大医学系研究科の中田ゆり客員研究員らの調査でわかった。

札幌市で開かれている日本公衆衛生学会で、きょう15日発表される。

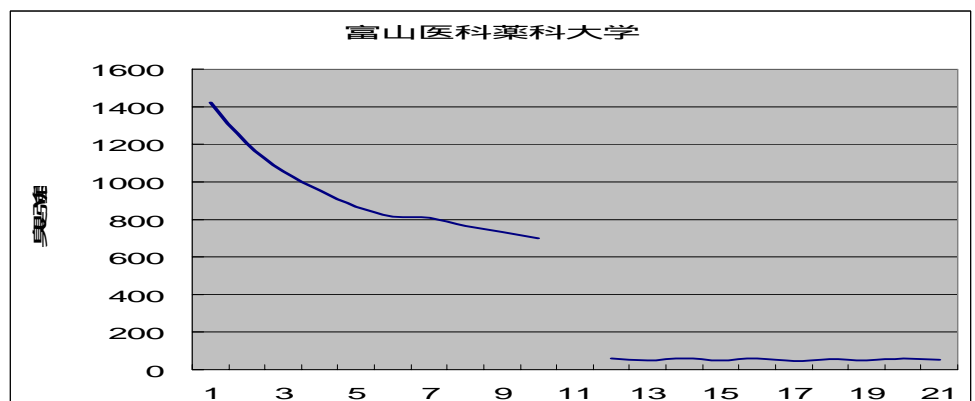
調査では、タクシーの客席で喫煙し、車内の粉じん濃度を測定した。

後部座席の窓を5センチ開けて喫煙した場合でも、粉じん濃度は厚生労働省の基準値(1立方メートルあたり0.15ミリ・グラム)の9倍に上り、原状回復に30分以上かかった。喫煙者が2人なら基準値の24倍、3人なら32倍に上昇した。エアコンを使用して3人が喫煙した場合は50倍に達した。

少し窓を開けていても30分、窓を閉めていれば1時間以上、車内に粉じんが残ることから、中田研究員は「直前の乗客が喫煙者だった場合、受動喫煙になる恐れが強い。子供や妊婦など喫煙の害を受けやすい人も利用するだけに、全面禁煙にする必要があるのではないか」と話している。

国土交通省などによると、全国のタクシー約27万台のうち、禁煙車は2%の5300台余。

<<富山医科薬科大学施工>>



遺体安置室の施工を22日に総勢16名で行った

20体の遺体の中を施工するには、結構な神経の太さと我慢が必要で有ったが、アークフラッシュの施工精鋭部隊は、無事終了させ、測定結果も評価に値する結果となった。

<< 日本情報通信本社 施工完了 >>



株式会社 日本情報通信 本社ビル

<< 編集後記 >>

富山医科薬科大学の遺体安置所の工事は精神的に重かった

発行責任者: 株式会社アークフラッシュ本部

笹川 透

03-5337-7275 FAX 5337-7465 honbu@arc-flash.com

1号～22号までを配信希望の方はメールにて申込ください。